

## 呼吸器緩和ケア内科 研修プログラム

### 目標

肺癌をはじめとする、生命にかかわる疾患に罹患している患者・家族の苦痛を理解し、それらを緩和するための能力を身につける。

診断早期からの、切れ目のない緩和医療の実践を学ぶ。

患者の意思決定を支援することを学ぶ。

緩和ケアチーム活動においてチーム医療を学び、必要に応じてリーダーシップを発揮できる。

症状緩和に関して、主治医に対して専門性のあるアドバイスができる。

### 具体的目標

#### 1. 身体症状の緩和

患者の訴えや身体的所見、検査所見から、疼痛やその他の苦痛を的確に把握し、それを緩和する手段を適切に提供できる（オピオイドの使用や増量タイミング、副作用対策など）。患者の全体像を理解し、痛みを全人的苦痛としてとらえることを学ぶ。

#### 2. 精神症状の緩和

心のつらさ・せん妄などを認識し、それを緩和する手段を提供できる。

#### 3. 社会的支援の提供

院内・院外で患者が安心して療養できるように、社会的支援について学び、支援スタッフとコミュニケーションをとることができる

#### 4. 倫理的問題に対応する（意思決定支援・患者と家族の間の調整・グリーフケアなど）

### 対象と期間

当院の医師あるいは他院の医師（初期研修を終了していること）

3～12か月

### 研修内容

1. 緩和ケアに関するレクチャーを受けて、緩和医療の実践に必要な基本的な知識を理解する。
2. コンサルテーションに対応するなかで、身体症状や精神症状のアセスメントやマネジメントを実践し、知識を増やす。
3. PEACEプログラムに参加して研修する（なるべく指導者になる）。
4. 緩和医療学会の学術集会で発表する。

### スケジュール

月・水・金：緩和ケアチームラウンド

火・木：レクチャー・指導医とのディスカッション

特に気になる患者のフォロー

在宅医療とのかかわりを学ぶために退院カンファレンスに参加

水曜日の16：45から緩和ケアチームカンファレンス

第3木曜日 緩和ケア勉強会

### **当院の緩和ケアの特徴**

肺がんの患者さんが多いため、呼吸器症状や骨転移について、特に多く経験できる。

神経難病の患者の緩和ケアが経験できる（緩和ケアチームラウンドの対象患者さん10数人から25人程度のうちに、大抵2人程度おられる）。

慢性呼吸不全患者の緩和ケアが経験できる（緩和ケアチームラウンドの対象患者さん10数人から25人程度のうちに、大抵1～2人おられる）

対象となる疾患がかたよっているため、他院での短期研修も可能になるように配慮する予定。